

# 押堀川にいるホタル

押堀川の水辺に生息するホタルは、ゲンジボタルとハイケボタルです。源氏と平家の共演をお楽しみください。

## ホタル生態 豆知識

### なぜ光るの？

ホタルが発光するのは、愛のメッセージ交換です。光を明滅させながら飛びまわっているのは主にオスで、メスはあまり飛ばず、草などにとまって光を出しオスに信号を送ります。オスはメスの発光を見つけると、近づいていって一段と明るく明滅します。メスもこれに応じて明滅します。これが出会いの信号です。

### 発光の仕組み

黄緑色の光は、ホタルの体内にある発光物質(ルシフェリン)と発光を促す酵素(ルシフェラーゼ)が体内で混じり合って反応し、独特の光りを発しています。種類によって多少異なりますが、発光する部位は、オスは第6腹節と第7腹節、メスは第6腹節のみです。

### ホタル(成虫)はどれくらい生きている？

成虫の生存期間は、1~2週間ほどです。オスが交尾しても、すぐに死ぬことはありません。また、メスが産卵しても、すぐに死ぬことはなく、成虫になってからはどちらも長くて2週間ほどで寿命が尽きるようです。成虫になってからはエサを摂らず、夜露を飲むだけだといわれています。

### 何を食べて生きているの？

幼虫の時に水生の貝類(カワニナ)をエサとします。旺盛な肉食です。成虫となるためには、エサとなるカワニナがたくさんいる必要があります。



ハイケボタル(左)・ゲンジボタル(右)

**ゲンジボタルとハイケボタルの違い**  
ゲンジは高く飛び回ることがあり、強くゆっくりと光り、ハイケは草むらの中でチカチカと光ます。体形では、赤い前胸部に十字があるのがゲンジボタルで、縦に1本の筋があるのがハイケボタルです。体長はゲンジのほうが1.5倍くらい大きいです。

## ゲンジボタル

日本の固有種で本州・四国・九州に分布します。体長は10~18mm。比較的強く発光し、東日本型の雄の発光周期は4秒間隔で、西日本型は約2秒間隔。川の流れのあるところに生息することが多く、幼虫時はカワニナを食べます。

## ハイケボタル

日本の固有種で日本の全土、千島列島・シベリア地方・朝鮮半島・中国東北部に分布します。体長は7~10mm。水の流れのない田んぼや草むらに生息します。幼虫は雑食性で貝類だけでなく多様な水生生物も捕食します。

